

令和 6 年度 但馬支部講演会・新人発表会
プログラム・抄録集

日時 令和 7 年 1 月 25 日（土） 13 : 00～

場所 公立八鹿病院 中央リハビリテーション科

兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878-1

担当 （一社）兵庫県理学療法士会 但馬支部

～プログラム～

受付開始

12:30～

但馬支部 講演会

13:00～16:00

座長：近藤 直樹（公立八鹿病院中央リハビリテーション科）

『大腿骨頸部・転子部骨折を深掘り～目からウロコな臨床実技セミナー～』

講師：三宅 崇史 先生（たちほら整形外科 肩とスポーツのクリニック）

— 休 憩 —

但馬支部 新人発表会

16:10～

兵庫県理学療法士会より

新人発表

座長：西村 仁志（公立八鹿病院中央リハビリテーション科）

1. 生活行為に直結する目標設定と関係者との役割分担により ADL に改善が見られた一症例
但馬県民局但馬長寿の郷 山本 俊介

【参加者へのお願い】

講演会について

- ・履修ポイント 登録・認定・専門理学療法士 更新3ポイント
- ・カリキュラムコード 88 運動器疾患の理学療法
- ・実技がありますので動きやすい服装（軽装・ジャージ・ハーフパンツなど）でお越しください。

新人発表について

- ・発表時間：7分、質疑応答は演題ごとに8分となっております。
- ・質問の際は、座長の指示に従って氏名・所属を告げた上で活発に行ってください。
- ・新人教育プログラムにおける単位認定について
新生涯学習制度の開始に伴い、新人発表による生涯学習ポイントは付与されません。
予めご承知おきくださいますようお願いいたします
- ・携帯電話等について：会場内での携帯電話の使用はご遠慮ください。

生活行為に直結する目標設定と関係者との役割分担により ADL に改善が見られた一症例

山本 俊介、永田 智

(但馬県民局但馬長寿の郷地域ケア課 理学療法士)

【症例】 80 歳代女性。事業対象者。独居。通所サービス 1 回/週。既往歴：脳梗塞、現病歴：高血圧、糖尿病。HOPE：湯船に浸かりたい、片道 1 km を歩いて通院したい。

【理学療法評価】 安静時血圧 190/90mmHg。BRStage 右上肢・下肢 VI、右手指 V。下肢粗大筋力右 4+、左 4+~5 レベル。右上下肢表在感覚軽度鈍麻。右足趾屈曲拘縮、脊柱軽度後弯変形。片脚立位右：5 秒、左：30 秒。浴槽高さ 60cm でまたぎが困難。洗い場椅子高さ 15cm からの立ち上がり困難。屋外歩行：T 字杖で 1km 程度歩行可能だが右下肢の疲労が強い。高さ約 30cm のバスステップ昇降に努力を要する。セルフケアは座位中心の運動を低頻度・低負荷で実施していた。

【統合と解釈】 目標（3 か月）：(1) 浴槽またぎの自立、(2) 浴槽内立ち座りの自立、(3) 路線バスのステップ昇降が楽に行える。目標達成に向け、(1) 麻痺側下肢の筋力増強・片脚支持性向上の運動、(2) 段差昇降、入浴動作練習、(3) 浴槽台の導入が必要と判断。降雪や凍結による転倒を考慮し、通院手段はバス利用とした。

【プログラム】 (1) セルフケア：積極的な立位での運動、動作練習。(2) 目標に応じた体力測定項目の設定。(3) 役割分担：①本人：セルフケアを自宅でも実施。②通所スタッフ：本人と都度目標と運動方法を確認。月 1 回体力測定の実施。③介護支援専門員（以下、CM）：自宅にて目標達成度を確認し共有。

【中間評価】 (1) セルフケア：ほぼ毎日実施。(2) 体力測定：①段差昇降 8.78 秒→7.00 秒、②座りまたぎ 6.28 秒→4.46 秒、③立ち座り 7.10 秒→6.71 秒。(3) その他：座りまたぎと浴槽内立ち座り動作を獲得。バスステップの昇りやすさに変化なし。

【考察】 動作・ADL 改善の要因は、本人の主体性を引き出し、運動に対する意欲を保てたことだと考える。和田らは、生活期リハでは本人の「主体性」を促すことが能力や生活全体の変化に繋がると指摘している。本症例では、評価を通して必要な動作、阻害する身体・環境要因を整理し、本人と共有できたことで、▽目標の明確化、▽すべきことの理解、▽それらを遂行できると考えたこと、が本人の主体性を引き出したと考える。加えて、本人の主体性を継続させるために関係者の役割分担を工夫した。通所スタッフは目標や運動の確認に加えて、体力測定の様子を動画で撮影し、成果を視覚的に理解することを促した。更に CM から目標達成度を確認できたことで、運動内容や負荷を調節することができた。これらにより、本人の主体性が維持された結果、セルフケアの継続、目標達成に至ったと考える。

入浴動作が自立した一方、バスステップの昇りやすさの改善が見られなかった。セルフケアの安全性を考慮した結果だが、段差昇降を実際のステップ高さよりも低く設定していたことが原因と考える。路線バスの手すり位置や乗り場からステップまでの距離についての確認を行った上で再アプローチしたい。

【倫理的配慮】 ヘルシンキ宣言に則り、本人に症例報告の趣旨について説明し、同意を得た。

